

## 6 胃内容物

漁獲試験によって得られた漁獲物および市場購入資料について胃内容物を調査し表-6に示した。

胃内容物の出現尾数をみると、12月にはミズン (*Harengula ovalis* BENNETT) が最も多く(20尾)、次いでトウゴロイワシ (*Allanetta bleekeri* GUNTHER) 18尾、ムロアジ (*Decapterus muroadsi* TEMMINCK et SCHLEGEL) 8尾、サバ科Sp 2尾となっている。1月にもやはりミズンが最も多く25尾、サバ科Sp 3尾、不明魚4尾となっている。3月になると魚類主体から、ウニ類、カニ類、貝類等のサンゴ礁海域に生息する底生動物が主体となっている。これは、この時期にサンゴ礁周辺海域からサンゴ礁上に移動することを示すものと考えられる。

表-6 ハマフェエキ胃内容物の出現尾数

調査年月日	調査尾数	尾又長物重量 (cm) (g)	胃内容物重量 (g)	ムロアジ	サバ科Sp	トウゴロイワシ	ミズン	フエキダイ科Sp	メアジ	不明魚	ウニ類	ヒトデ類	貝類	カニ類	サボテンガサ属	苔虫類	砂
S・47 10・25	6	49.0 ~ 53.5	1.50 ~ 25.0							4							
12・14	7	48.2 ~ 55.2	50.0 ~ 165.0	2	2	18	20			1							
S・48 1・31	13	48.0 ~ 54.5	1.50 ~ 154.0		3		25	1		4							
3・9	14	35.0 ~ 60.0	1.20 ~ 8.70						1	4	+++	+	+	+	+	+	+

※ +++: 調査個体数の50%以上出現  
 ++: " 30%~50%出現  
 +: " 30%以下出現

## 7 産卵生態

聞き取り調査および漁獲物購入資料による生殖線調査を実施した。聞き取り調査によると産卵期は3~4月、産卵場は知念の南側の水深20m以浅のサンゴ礁海域であると推定される。

一方生殖線調査による熟度調査を行ない、表-7および図-7に示した。

生殖線熟度指数は  $GW/L^3 \times 10^5$  で示した。それによると熟度指数は、10月には♀0.56~5.52、平均3.75、♂は1個体測定で1.75、12月には♀5.58~12.96、平均9.38、♂2.63、1月には♀1.00~2.026、

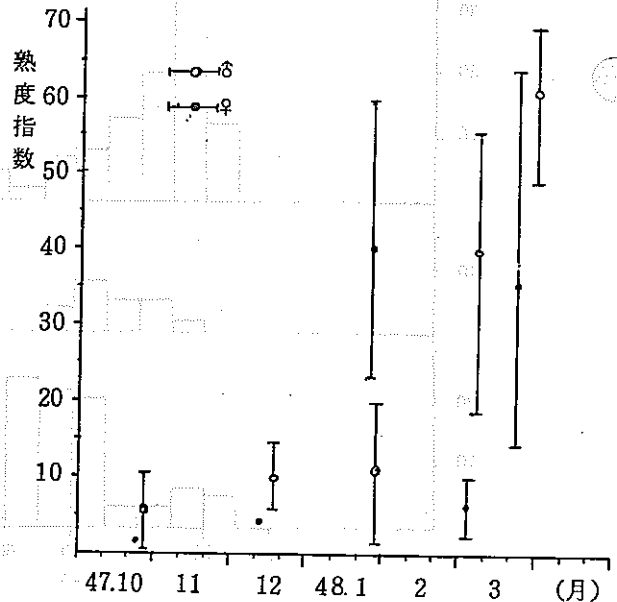


図-7 ハマフェエキの熟度指数の月別変動